

# 南部第2センター開設、既存施設で保冷強化

## ■朝日森運輸、成田で施設増強

朝日森運輸は成田地域で施設の増強を進めている。今月6日、半導体製造装置関連の梱包を行う成田南部物流センターの近郊に第2センター(成田南部第2物流センター)をリニューアルした。堅調な半導体製造装置の需要に応える。また、成田東部物流センター(東京税関承認 AEO 届出蔵置場)で冷蔵・空調庫の増強も予定しており、温度管理の必要な貨物の需要に対応していく。



成田南部第2物流センター

施設をリニューアルして開設した成田南部第2物流センター(千葉県山武郡横芝光町長山台1-2、横芝光工業団地内)は敷地面積約1万5000平方メートル、倉庫面積約6000平方メートル。フルトレーラーも容易に入退場できるスペースを設け、大型トラック通行帯を三車線設けた。また大型半導体製造装置用のシャッターも設けている。

新施設の開設は半導体製造装置の旺盛な需要に応えてのもの。新型コロナウイルスの影響で、航空貨物の梱包・荷役は減少している中、半導体関連の取り扱いは堅調という。同社は従来、2018年に開設した成田南部物流センターで半導体製造装置の

取り扱いを行っている。また、同施設は保税蔵置場(横浜税関承認 AEO 届出蔵置場)を有し、輸出貨物の一時保管・梱包などの業務を行っている。取り扱いの増加とともに施設が手狭となり、成田東部物流センターを利用することも増えていたという。南部センター近郊に施設を設けることで、効率的な運用を図っていく。第2センターは同社の航空関連施設として5拠点目の開設となる。

成田東部物流センターでは、温度管理機能を強化する。同施設は従来から、成田地域で比較的大規模の保冷庫を構え、フォワーダーや荷主の航空輸出をサポートしていた。温度管理貨物についても、化成品などを

中心にコロナ影響下で大きな影響を受けておらず、今後も取り扱い拡大が見込めるという。より温度管理貨物に注力していくことで、事業拡大につなげていく。

今回増強するのは冷蔵庫220平方メートル、空調庫248平方メートル。冷蔵庫は10月15日、空調庫は9月7日の完成予定。なお既存の温度管理施設は、冷蔵884平方メートル、冷凍193平方メートル、空調222平方メートルの規模があり、空調庫は倍増以上の増床となる。

冷蔵・空調庫の増設のため、非常用電源設備の増強も図る。以前からバックアップ電源は備えていたがBCP対応強化も目的に増強する。